

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号、事業名		4 山地治山		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課								
	番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	H24年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考
								必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点	ランク					
1	飯田市	まぎわ 木沢	谷止工3個	6000万円	100万円 2000万円	H26	A	A	A	A	B	79	A	集落に近接した治山工事施工地であるが、平成22年7月豪雨の際に上流で新たな山腹崩壊が発生し、既設構造物を土砂が越流し下方へ流出した。渓流内には未だ不安定土砂が堆積していること、既設谷止工は、経年劣化により機能が低下しているため、既設谷止工を嵩上げ、増厚することにより機能強化対策を行い、再度災害の発生を防止する必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。				
2	小谷村	ひめかわおんせん 姫川温泉	山腹工0.90ha 岩盤接着工 落石防止網工	2億円	373万5千円 7470万円	H26	B	A	A	A	A	78	A	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、事業実施後6年を経過し、山腹斜面の浸食、風化により、新たな落石が発生している。下方に人家及び村道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。				
3	安曇野市	はんざわ 半沢	谷止工1個 護岸工1個 山腹工0.25ha	4600万円	140万円 2800万円	H25	B	A	A	A	B	77	A	平成23年5月豪雨により山腹崩壊が発生し、山腹内に不安定な状態で堆積している。そのため今後の降雨により土砂が流出する恐れがあることから、対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。				
4	大町市	おおふじ 大藤	山腹工0.17ha 転石整理工 落石固定工	4000万円	125万円 2500万円	H25	B	A	B	A	B	75	A	平成23年の融雪期に落石が発生しており、上部発生源には亀裂の発達した不安定な岩塊が存在している。下方には小中学校の通学路である県道があることから、対策を図る必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。				
5	小諸市	やまいり 山入	山腹工0.20ha 落石防護網工 2,000㎡	3250万円	162万5千円 3250万円	H24	B	A	A	A	B	74	B	平成23年5月豪雨の影響等による山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石の危険性が確認された。下方には小学校の通学路である市道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。				
6	上田市	ふるや 古屋	谷止工1個 山腹工0.05ha 土留工1個 伏工500㎡	3000万円	円 円		B	A	A	B	B	73	B	渓流左岸は浸食はあるものの、ほぼ基岩に達している。渓流右岸側の堆積地形の浸食・再移動による想定流出土砂量、被害想定範囲の検討・解析を進め、必要な対策工を見極めた上で事業化が必要である。	重要性は認められる。				対策工法を含めた全体計画を再検討する。
7	飯田市	まぎわら 沢柄	谷止工2個 谷止工(嵩上)1個 山腹工0.50ha	2億3000万円	225万円 4500万円	H28	A	A	C	A	A	73	B	平成22年7月豪雨により、渓流内には大量の土砂が堆積しており、時期出水時には直下の人家に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。				
8	須坂市	よねこ 米子	山腹工0.30ha 落石固定工	8400万円	135万円 3000万円	H26	B	A	A	A	B	73	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、平成23年3月の北部地震後、新たな落石が発生している。下方に人家及び県道があることから、対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。				

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		事業番号、事業名		4 山地治山		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課									
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	H24年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
9	大町市	み 三ツ沢	谷止工1個	1800万円	90万円 1800万円	H24	A	A	A	C	B	70	B	豪雨の度に、溪流沿いの浸食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生する恐れがあるため、対策工の実施が必要である。	必要性、重要性が認められる。				
10	大町市	なか 中ノ貝	谷止工1個	1850万円	92万5千円 1850万円	H24	C	B	A	A	B	64	B	豪雨の度に、溪流沿いの浸食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	緊急性が認められる。				
11	長和町	おおよ 大多沢	山腹工0.20ha 落石固定工 2,000㎡	6000万円	100万円 2000万円	H26	B	C	A	B	B	60	B	平成22年の融雪期に落石が発生しており、上部発生源には亀裂の発達した不安定な岩塊が存在している。下方には生活道路としても利用されている林道があることから、対策を図る必要がある。	落石対策の必要性は認められる。				
合 計			11箇所	8億1900万円	1543万5千円 3億1170万円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満												

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		事業番号、事業名		4 山地治山(林地荒廃防止)		補助・単独別		補助		林務部 森林づくり推進課									
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費	H24年度 上段：一般財源 下段：事業費	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	政策評価課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
1	天龍村	おおくぼ 大久保	山腹工0.10ha 土留工2個 水路工、筋工 伏工、植栽工	2300万円	115万円 2300万円	H24	A	A	A	A	B	77	A	平成23年7月豪雨により山腹崩壊が発生し、下部村道が通行止めとなった。山腹内には未だ不安定な堆積土砂や倒木があり、今後の降雨により土砂が流出する恐れがあることから、対策を図る必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。				
2	上田市	おおくぼ 大久保	谷止工1個 山腹工0.02ha	3000万円	円 円		B	A	A	B	B	69	B	山腹崩壊地の復旧及び溪流への対策工の必要性はあるものの、拡大崩壊の危険性は比較的低い。高速道路用地に跨る荒廃箇所であり、道路管理者との調整を進め、計画熟度を深めたうえでの事業実施が必要である。	重要性は認められる。				関係機関との調整を含め全体計画を再検討する。
合 計			2箇所	5300万円	115万円 2300万円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満												